

No	12												
指標名	地域救急貢献率												
定義	<p>(分子)当院の救急車来院患者数  (分母)二次医療圏内の救急車搬送人数  ※救急用ヘリコプターによる搬送患者も含む。  ※二次医療圏・・・当院は松山医療圏(松山市、伊予市、東温市、松前町、砥部町、久万高原町)</p>												
結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>本院 (%)</th> <th>全国中央値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2015年度</td> <td>18.8%</td> <td>20.8%</td> </tr> <tr> <td>2016年度</td> <td>12.0%</td> <td>21.4%</td> </tr> <tr> <td>2017年度</td> <td>12.6%</td> <td>20.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(当院)2015年度、2016年度、2017年度における当院のデータ  (全国)2015年度、2016年度、2017年度に実施した病院の中央値 (2018/04/25 時点  ※他院との詳細な比較につきましては「<a href="#">全国自治体病院協議会 医療の質の評価・公表等推進事業</a>」のページをご参照ください。</p>	年度	本院 (%)	全国中央値 (%)	2015年度	18.8%	20.8%	2016年度	12.0%	21.4%	2017年度	12.6%	20.6%
年度	本院 (%)	全国中央値 (%)											
2015年度	18.8%	20.8%											
2016年度	12.0%	21.4%											
2017年度	12.6%	20.6%											
コメント (解説)	<p>松山医療圏域 3 市 3 町(松山市、伊予市、東温市、松前町、砥部町、久万高原町)の二次救急医療体制は病院群輪番制を敷いており、14 の救急病院で 8 つのグループを編成し、365 日 24 時間、当番制で救急患者を受け入れています。</p> <p>当院は病院群輪番制参加病院として、当番日(1回/8日)に軽症から重症すべての救急患者を受け入れてきました。松山医療圏救急医療体制を協議を重ねた結果、2016年4月から病院群輪番制から脱会し救急当番病院など対応が困難な患者は、重症度に関係なく、毎日受け入れる体制に変更しました。</p> <p>そのため、2016 年 4 月からは比率としてはやや低下していますが、病院群輪番病院が主に軽症を、当院が中等症および重症患者に対応することとした救急医療体制の変更によるものです。</p>												